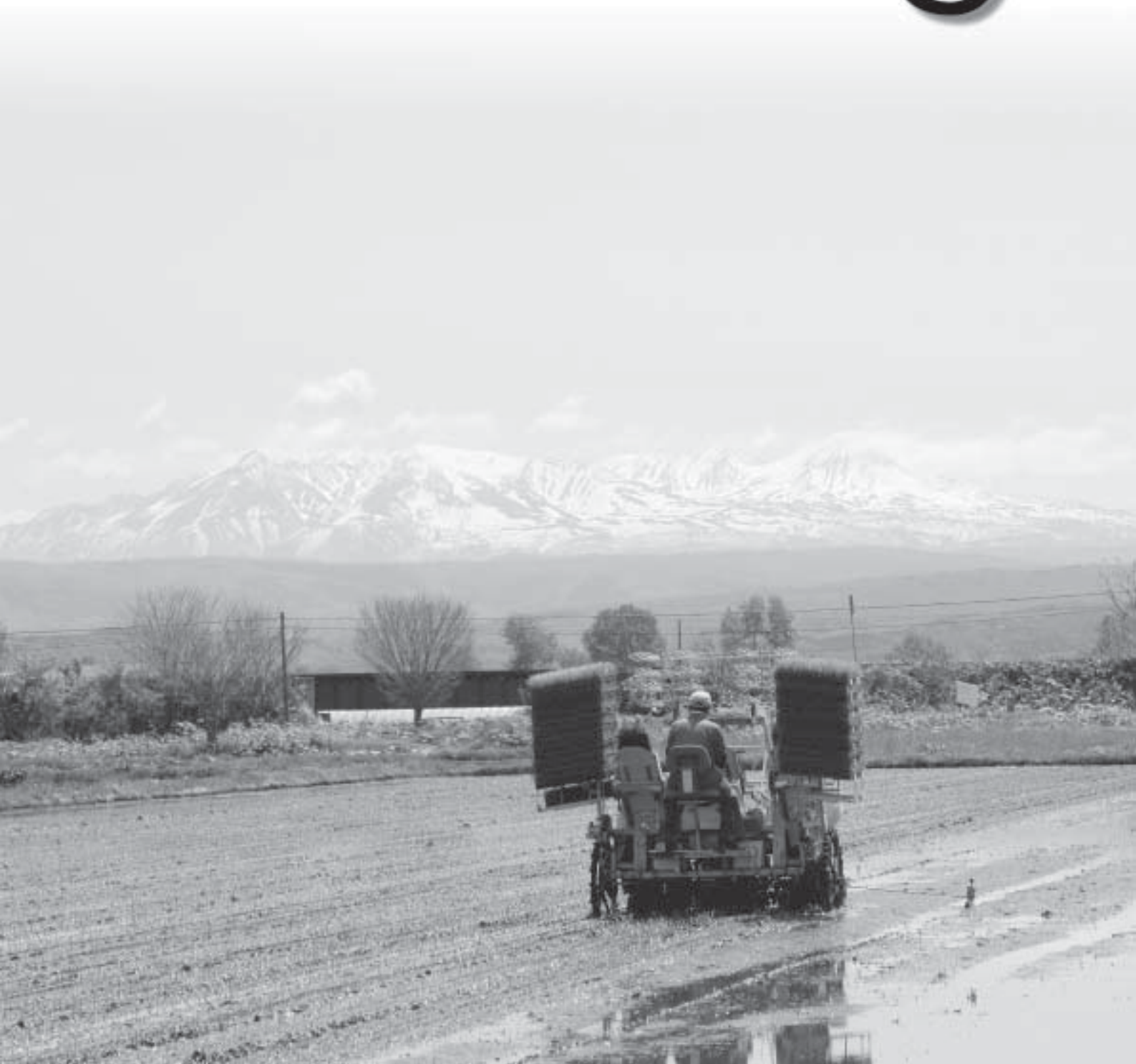


比布町ふるさと通信  
2013年号

# ひび



桜舞う季節に  
東京比布会ふるさと訪問・・・平成24年5月20日～22日

東京比布会の会員11人が、生まれ育った比布町を訪れました。会員たちは出迎えた旭川比布同郷会の会員とともに、比布神社や集った小中学校校舎の跡地など、町内を見学。その後、比布町開基110年を記念して会員らが植樹した桜をグリーンパークびっぴパークゴルフ場内で観賞しました。遊湯びっぴで行われた交流会には、伊藤町長ら来賓と町内や札幌市内などからも多くの友人が駆けつけ、久しぶりの再会を喜び合いました。会員たちは「雄大な自然に触れ、古里の魅力を再発見した」「古里から元気をもたらした」と声を弾ませていました。



植樹した桜の木を背に



再会した友人らと



湖南省・比布町混成チームの試合風景

友好交流・滋賀県湖南市  
泥んこバレー大会に初参戦・・・平成24年7月15日

田んぼの中でバレーボールを楽しむ「びっぴ！丸ごと水田泥んこだらけのバレー大会2012」が、町内北7線15号の特設会場で開かれました。休耕田の活用と町内地域を越えた若年層交流を目的に企画され、今大会で4回目を迎えました。

開催以来、初めての晴天に恵まれた大会には、町内外から32チームが参加。友好交流を提携する滋賀県湖南市からも、2チームが初参戦しました。谷畑英吾湖南市長は開会式で、「開拓期から縁が続くのは素晴らしいこと。この縁を大切にしたい」とあいさつした後、田んぼに飛び込み会場を盛り上げました。また、谷畑市長は選手としても出場し、果敢なプレーでチームをけん引しました。会場では、同市下田地区の特産品「下田なす」の試食・販売が行われ、試食した人からは「皮がやわらかくておいしい」と大好評でした。



「下田なす」は美味！

# ふるさと会から

各会では会員を募集しています。  
各連絡先または比布町役場総務企画課へ  
お気軽にご連絡ください。

旭川比布同郷会では、平成24年3月25日(日)に旭川市内で第59回総会を開催し、会員約90人と札幌比布会から3人が参加。比布町からは伊藤町長や久保田議長、荒尾商工会長らが出席しました。懇親会では、ハーモニカ演奏やビンゴゲームなどが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。今年設立60周年の節目を迎える旭川比布同郷会。ますますのご発展を祈念いたします。



## 旭川比布同郷会

- 会長 岩城敏春<sup>さん</sup>
- 会員 約400人
- 総会 毎年1回
- 会費 4,000円程度
- 連絡先 宮崎重吉<sup>さん</sup>  
☎0166-32-5218

札幌比布会では、平成24年7月1日(日)に札幌市内で第18回総会を開催し、会員約80人と町内や旭川比布同郷会から12人が参加しました。比布町からは伊藤町長、中本町議、佐藤町議、高橋農協組合長、荒尾商工会長らが出席しました。交歓会では、エレクトーン演奏による比布中学校の校歌を歌うなど、友人と過ごした学生時代を思い出しながら、有意義な時間を過ごしました。



## 札幌比布会

- 会長 田中勝三郎<sup>さん</sup>
- 会員 約400人
- 総会 毎年1回
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 大谷知彰<sup>さん</sup>  
☎011-772-2804

東京比布会では、平成24年7月7日(土)に都内で第19回総会を開催。会員約60人と再会を心待ちにしていた友人らが道内から参加しました。また、比布町から伊藤町長や久保田議長、大西農協常務理事、荒尾商工会長らが出席し、交流を深めました。交歓会では、お楽しみ抽選会や出身小学校の校歌を歌い、ふるさと比布の思い出を語りながら、楽しい時間を過ごしました。



## 東京比布会

- 会長 牧野 正<sup>さん</sup>
- 会員 約350人
- 総会 毎年1回
- 会費 8,000円程度
- 連絡先 深瀬和昭<sup>さん</sup>  
☎0485-54-6765

## まちなりの出来事 Town News

2012.3-2013.2

- 平成24年3月1日 セブンイレブン上川比布町店が移動販売車の運行を開始
- 3月18日 人気番組「タカトシ牧場」を町内で収録(5月5日放送)
- 3月24日 町立びっぴクリニックに人工透析棟が完成
- 3月25日 旭川比布同郷会が総会を開催
- 5月20～22日 東京比布会がふるさと訪問
- 6月18日 いちご狩り農園が開園
- 7月1日 札幌比布会が総会を開催
- 7月7日 東京比布会が総会を開催
- 7月15日 びっぴ丸ごと水田・泥んこだらけのバレー大会を開催

- 7月19日 比布商工会長・荒尾孝司さんが北海道商工会連合会の会長に就任
- 8月2～3日 中央小の藤田晃選手、渡邊真衣選手が全国小学生ソフトテニス全国大会に出場
- 8月7日 びっぴ七夕天国を開催
- 8月12日 旭川工業高校野球部の高田敦志さんが夏の甲子園に出場
- 8月17～19日 比布中の西銘美味選手、中谷澤菜選手が全国中学生ソフトテニス全国大会に出場
- 10月20日 びっぴの食と農を楽しもう！秋の大収穫祭2012
- 12月1日 びっぴスキー場オープン
- 12月16日 衆議院議員総選挙
- 平成25年1月1日 防災行政無線施設(デジタル)運用開始
- 1月13日 比布町成人式を挙行
- 2月24日 びっぴチャレンジ☆パラダイスを開催

# 歴史を訪ねて

昭和8年、町内では情報通信網整備が急速に進み、通信施設は時代とともに大きく変化してきました。共同聴取施設、有線放送電話と形を変え、現在は防災無線として、町民の皆さんに親しまれています。昨年12月には、無線施設がデジタル化され、今年1月1日、伊藤町長の第一声が放送されました。



電話交換業務



有線放送

## 有線放送の始まりと変遷

昭和8年にNHK旭川放送局が開局されると、ラジオの聴取加入者は急速に増えていきました。

しかし、電波の受信は電化地域に限られ、無電灯地帯や農村地域でのラジオ聴取は不可能に近い状況にありました。こうした聴取が困難な地域で試みられたのが、昭和13年に第3区の農家3戸が共同で設置した、家と家を有線で結ぶ共同聴取施設でした。

戦後間もなくラジオの普及に力を入れた始めたNHKは、共同聴取施設の技術援助を開始しました。昭和24年4月には、第3区の8戸がラジオを受信し、連絡装置としても利用できる共同聴取施設を開設。これが、比布の共同聴取、有線放送の草分けとなったのです。

昭和27年6月には、有線放送施設が完成し、宮崎村長の第一声が初めて放送されました。翌28年に比布村放送文化協会（コールサインP・H・K）が発足。その後、放送と電話機能を備えた有線放送電話が普及し、町民の生活に大きな役割を果たしてきました。

平成4年1月、防災無線局の開局に伴い、39年にわたる有線放送に終わりを迎えたのでした。

（参考・比布町史）

### 発行・編集

ふるさと通信『ぴぷ』平成25年3月6日発行（通巻第13号）

■発行 比布町

■編集 総務企画課広報係

☎078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111（代表） 0166-85-4802（総務企画課直通）

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール [ichigo@town.pippu.hokkaido.jp](mailto:ichigo@town.pippu.hokkaido.jp)



咲き誇る町花すいせん（8区澁谷さん）

### まちの人口

総数 4, 079人

男 1, 926人

女 2, 153人

世帯数 1, 868世帯

■平成25年1月末日現在  
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信『ぴぷ』は、比布を離られた人と比布を結ぶ情報紙です。  
皆さまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。